

信用補完制度のあり方に関する検討小委員会  
とりまとめ(案)

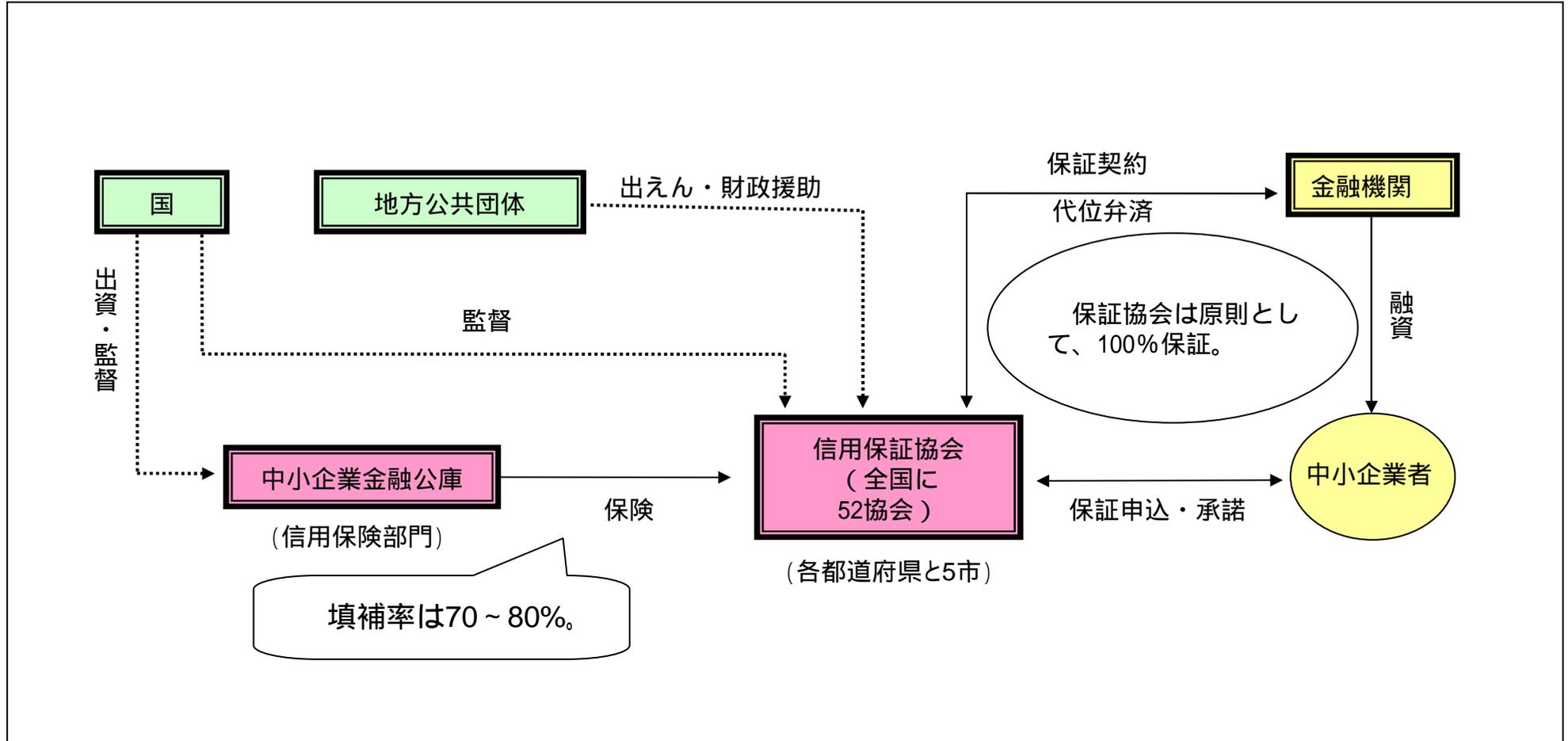
～ 参考資料集 ～

## (目次)

・補完制度の仕組み	3	・保険料収納、回収金納付、保険金支払の推移	24
・保証承諾の長期推移	4	・保険収支の推移と国の関与	25
・代位弁済率・回収率の長期推移	5	・保証料と保険料について	26
・保証制度の利用状況	6	・基本保証料率と保険料率の推移	27
・保証債務残高の推移	7	・保険限度額の推移	28
・保証承諾額の推移	8	・国及び地公体の財政援助の推移	29
・企業浸透率の推移	9	・主要な保証制度	30
・資本金別保険引受状況の推移	10	・各協会の地公体の制度融資数	31
・従業員規模別保険引受状況の推移	11	・地公体融資制度に係る貸付利率について	33
・無担保保証承諾構成比の推移	12	・代位弁済率の高い地公体制度融資	35
・無担保保証にて第三者保証人を徴求している割合	13	・保証料率等の低い地公体制度融資	36
・代位弁済率・回収率の推移	14	・売掛債権担保融資保証制度の実績	37
・代位弁済率・回収率の推移(金融安定化除く)	15	・中小企業向け貸付債権の証券化実績	38
・信用補完制度に関する収支状況	16	・保証協会の再生支援への取り組み状況	39
・各保証協会の状況	17	・再生支援体制イメージ図	40
・各保証協会の代位弁済率	19	・求償権の件数と職員一人当たりの求償権件数	41
・保証協会の基金等の推移	21	・一人当たり求償権件数(全体)	42
・保証協会の保険収支の状況	22	・求償権金額一人当たり金額(全体)	43
・求償権残高と回収額の推移	23	・保証協会サービサーについて	44

・協会と協会サービスの回収比較	・	・	45
・協会求償権に占めるサービス回収委託の割合			46
・借入金に対する信用保証付借入の割合	・		47
・適切な責任分担を図るための手法と検証点	・		48
・保証付融資の金利水準	・		49
・金融機関群別保証承諾額シェア	・		50
・金融機関群別保証債務残高シェア	・		51
・金融機関群別代位弁済額シェア	・		52
・金融機関群別代位弁済率の推移	・		53
・リスク審査モデルの活用	・		54
・諸外国の保証制度	・	.....	55
・保証協会の中期業務計画について	・	・	57

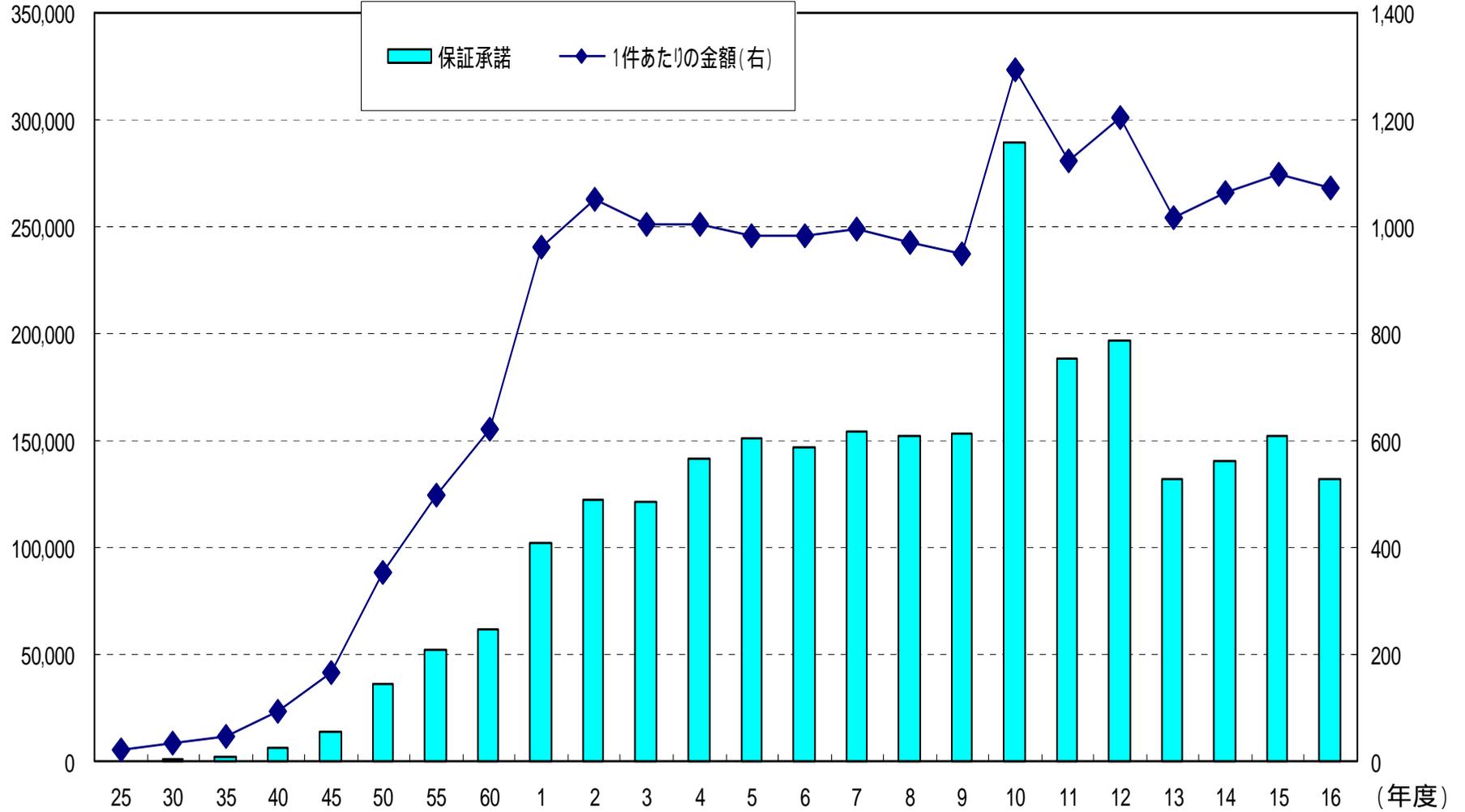
# 信用補完制度の仕組み



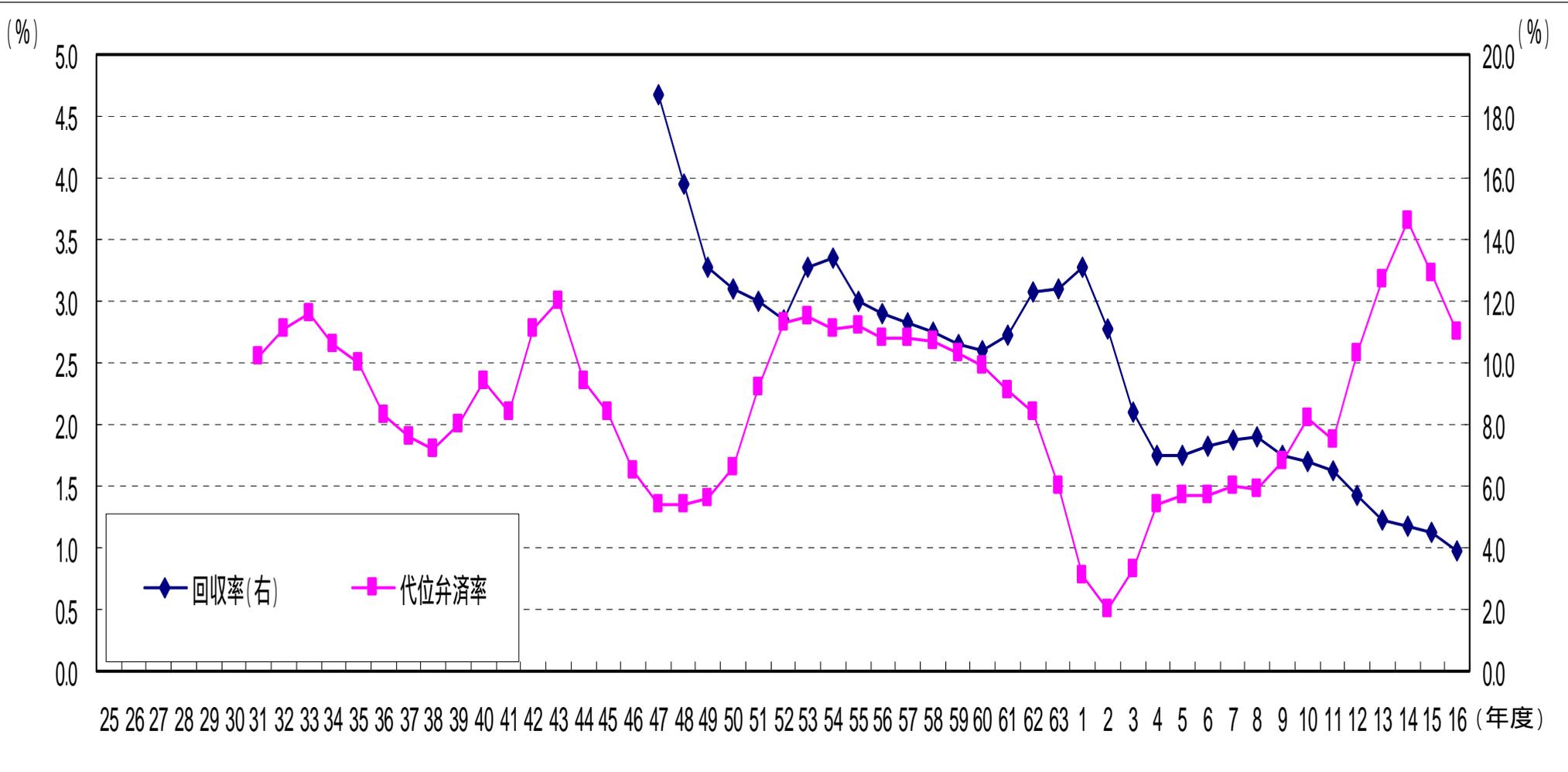
# 保証承諾の長期推移

(億円)

(万円)



# 代位弁済率・回収率の長期推移

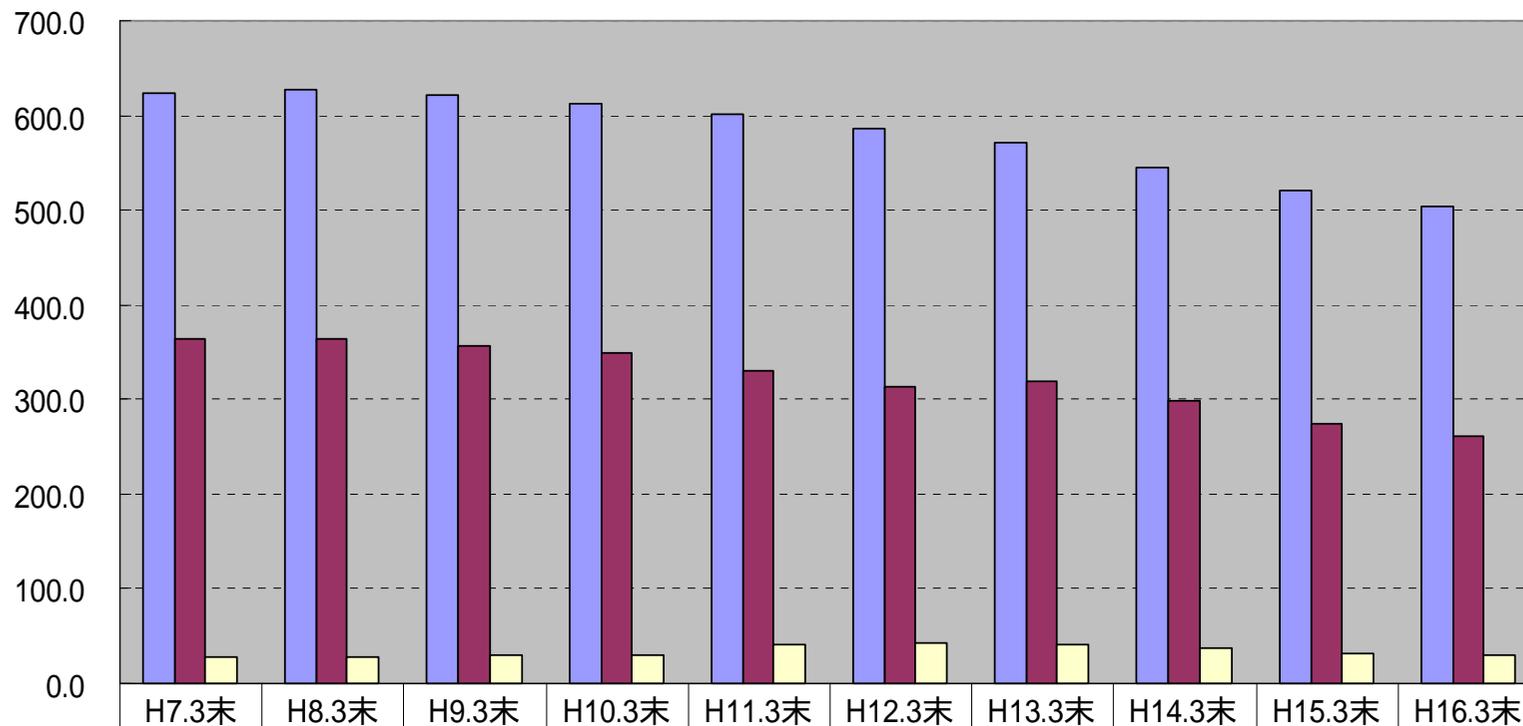


(注) 代位弁済率 = 代位弁済額 ÷ 保証債務平均残高      出所: 全国信用保証協会連合会資料により中小企業庁が作成  
 回収率 = 実際回収 ÷ (期首の求償権残高 + 期中の代位弁済額)

# 保証制度の利用状況

## 金融機関の総貸出残高、中小企業向け貸出残高

(兆円)



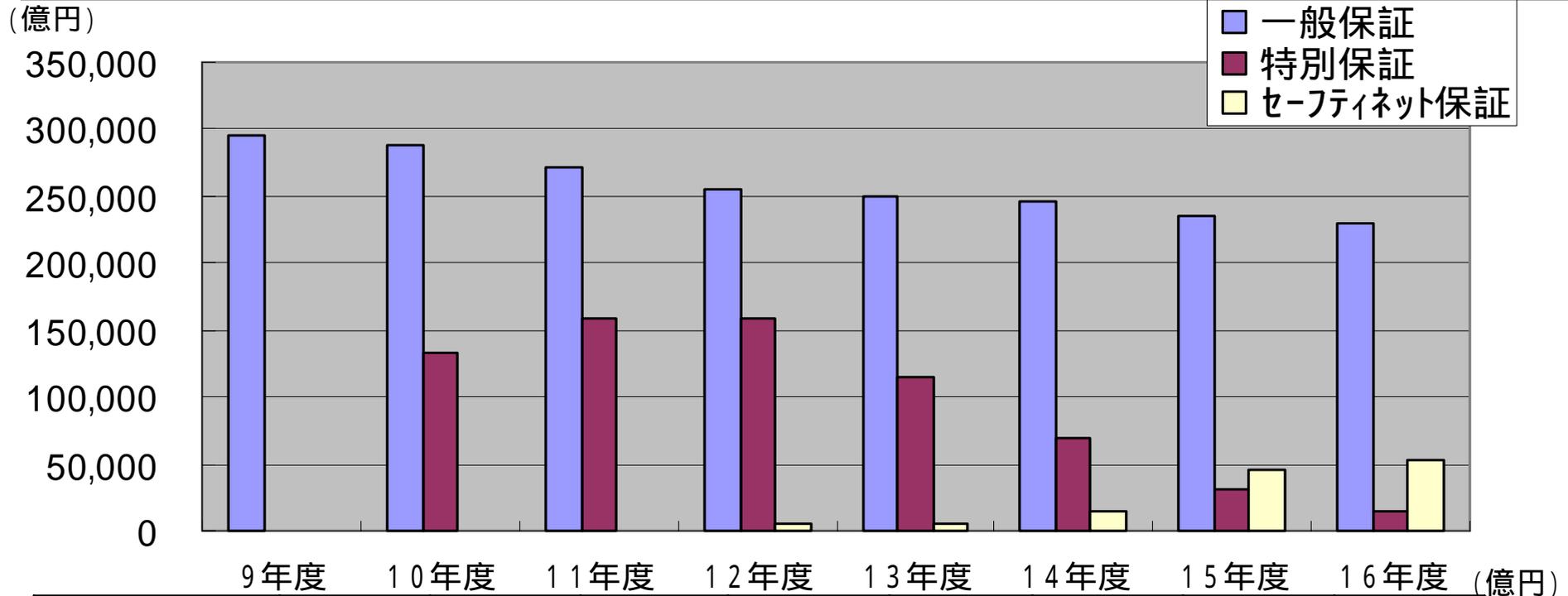
総貸出	624.1	627.3	620.9	613.0	601.2	586.3	571.4	545.9	520.2	503.1
中小企業向け	363.9	363.3	357.4	348.4	329.9	314.0	320.0	297.8	274.0	260.9
保証債務	27.5	28.6	29.2	29.6	42.0	43.0	41.2	36.6	32.6	29.7

(注)保証債務については、特定社債保証分及び中堅企業特別保証分を含まない。

出所: 中小企業金融公庫資料より中小企業庁が作成

# 保証債務残高の推移

- ・ 一般保証分の保証債務残高は減少傾向にあるものの、セーフティネット保証の拡充策の実施に伴い、その保証債務残高は増加傾向にある。
- ・ 平成13年3月末に終了した特別保証の残高は、1.5兆円までに減少している。

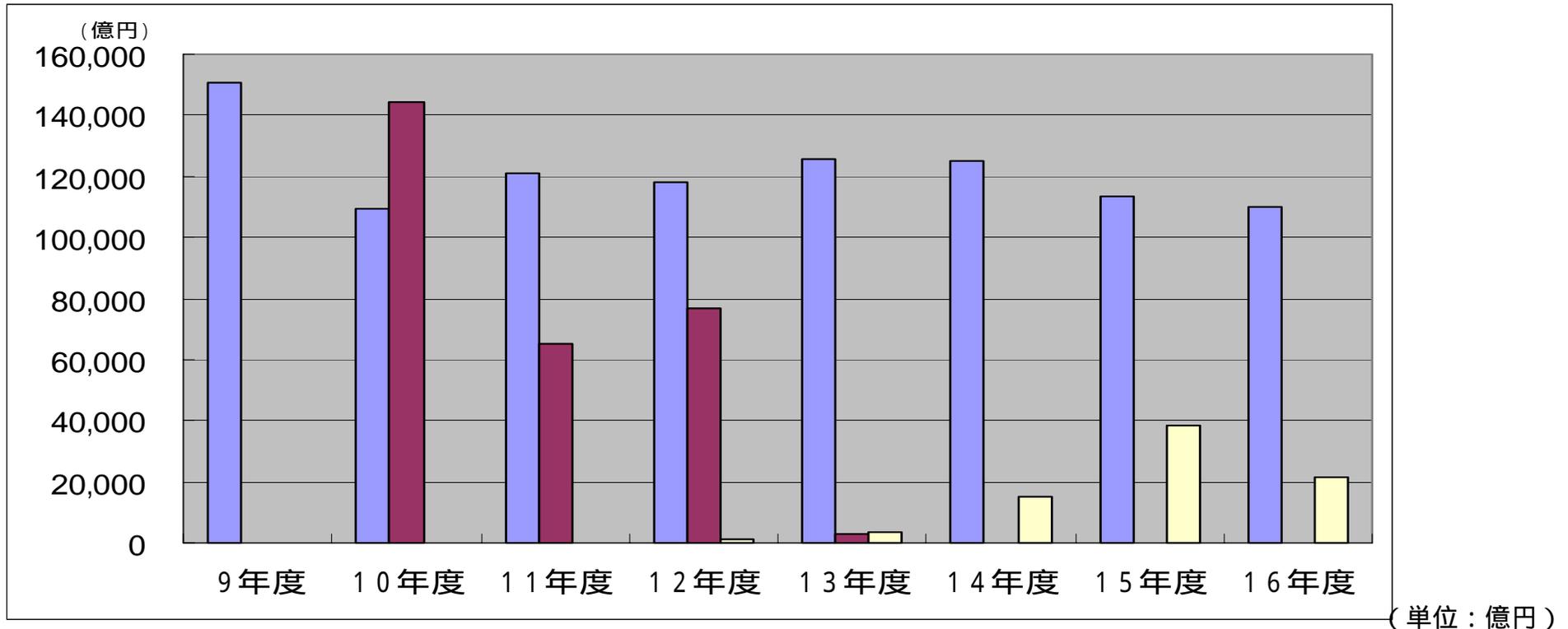


	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
一般保証	295,589	287,323	272,038	251,640	249,018	246,652	234,963	229,418
特別保証	-	132,594	158,154	158,338	115,167	69,804	30,362	14,600
セーフティネット保証	-	-	-	4,619	5,935	15,429	45,697	53,378
合計	295,589	419,917	430,191	414,597	370,120	331,885	311,022	297,396

セーフティネット保証の残高は、12年度から集計を開始。 出所：全国保証協会連合会資料より中小企業庁が作成

# 保証承諾額の推移

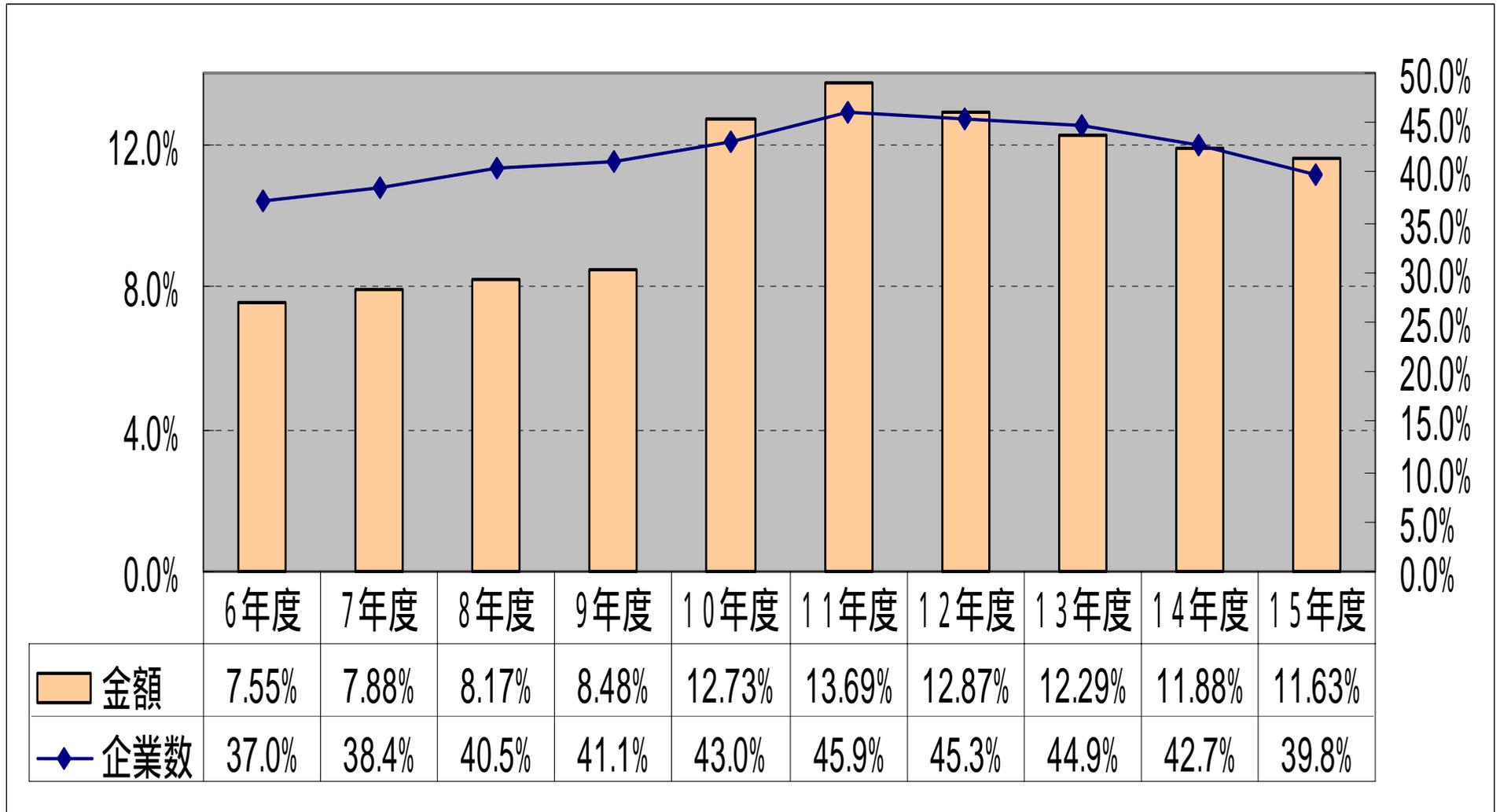
平成10年からの金融危機の影響を受けて、保証承諾額は一時的に急増したものの、現在では、危機以前の水準に戻りつつある。



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
一般保証 <span style="color: blue;">■</span>	150,690	109,611	121,182	118,158	125,745	125,327	113,432	110,194
特別保証 <span style="color: maroon;">■</span>	-	144,223	65,015	77,084	3,115	-	-	-
セーフティネット保証 <span style="color: yellow;">■</span>	-	-	-	1,093	3,399	15,100	38,533	21,435
合計	150,690	253,834	186,197	196,335	132,258	140,427	151,965	131,629

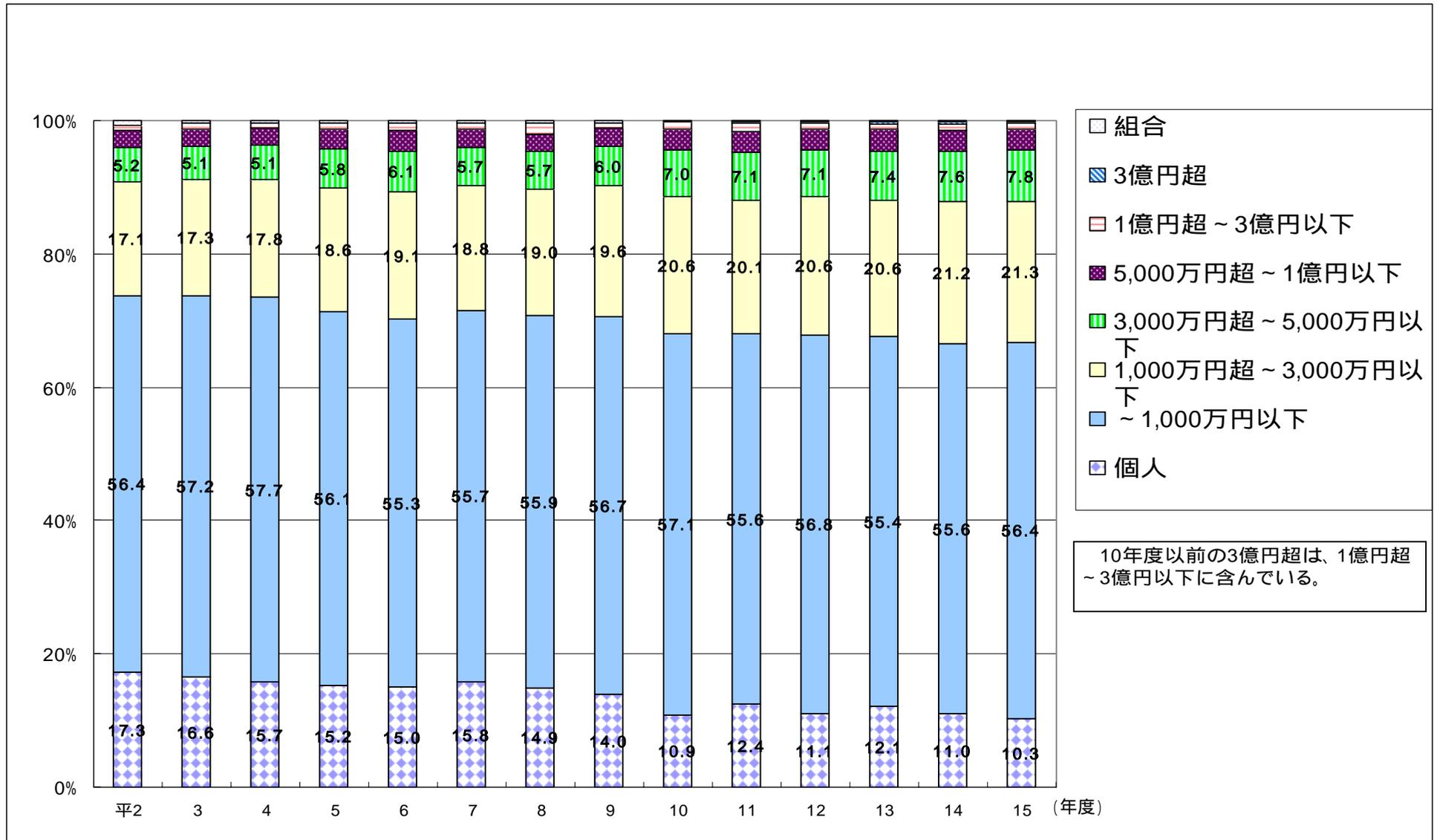
# 企業浸透率の推移

企業浸透率については、平成10年からの金融危機のピーク時の水準よりは低下しているものの、依然として、金融危機以前よりも高い水準にある。



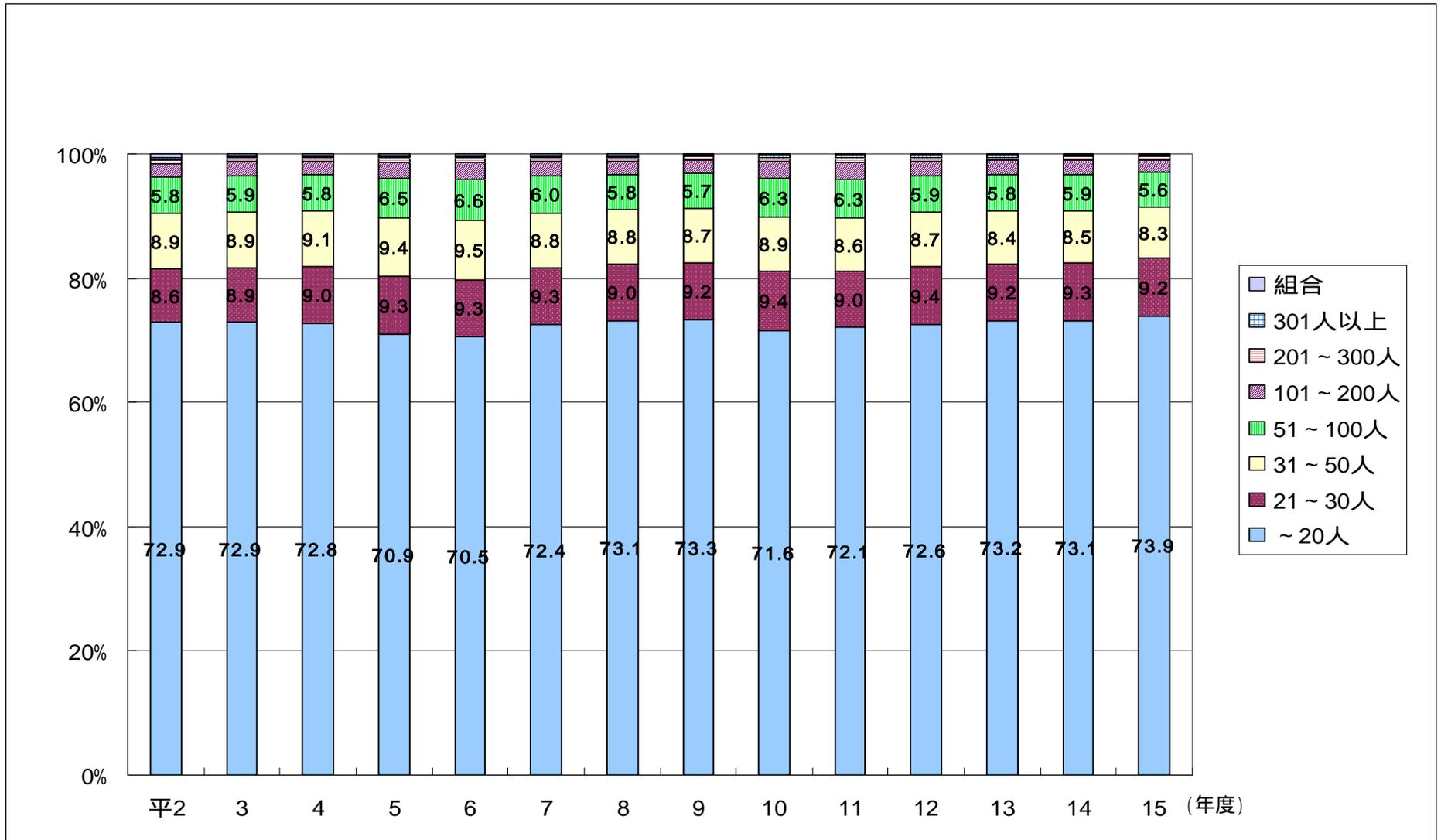
出所：全国信用保証協会連合会資料により中小企業庁が作成

# 資本金別保険引受状況の推移



出所：中小企業金融公庫資料から中小企業庁が作成

# 従業員規模別保険引受状況の推移

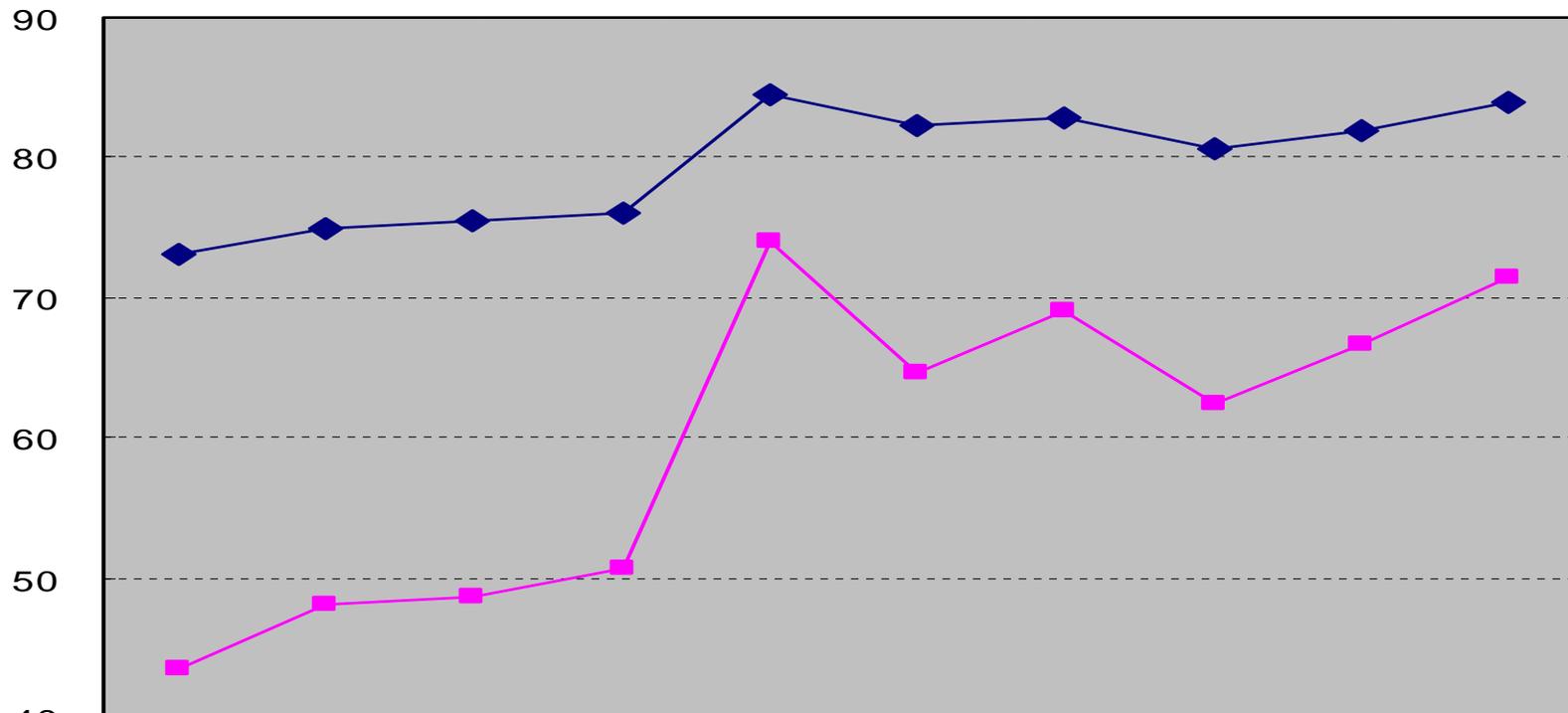


出所：中小企業金融公庫資料から中小企業庁が作成

# 無担保保証承諾構成比の推移

無担保保証は、平成10年の特別保証の実施、平成12年の無担保保険枠の拡大により、件数も金額も10年間で大幅に増加。件数ベースでは80%超、金額ベースでも70%超が無担保となっている。

(%)



	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
◆ 件数	73.16	74.91	75.41	76.12	84.55	82.27	82.86	80.61	81.91	83.91
■ 金額	43.52	48.13	48.72	50.65	74.09	64.58	69.00	62.44	66.74	71.35

(年度)

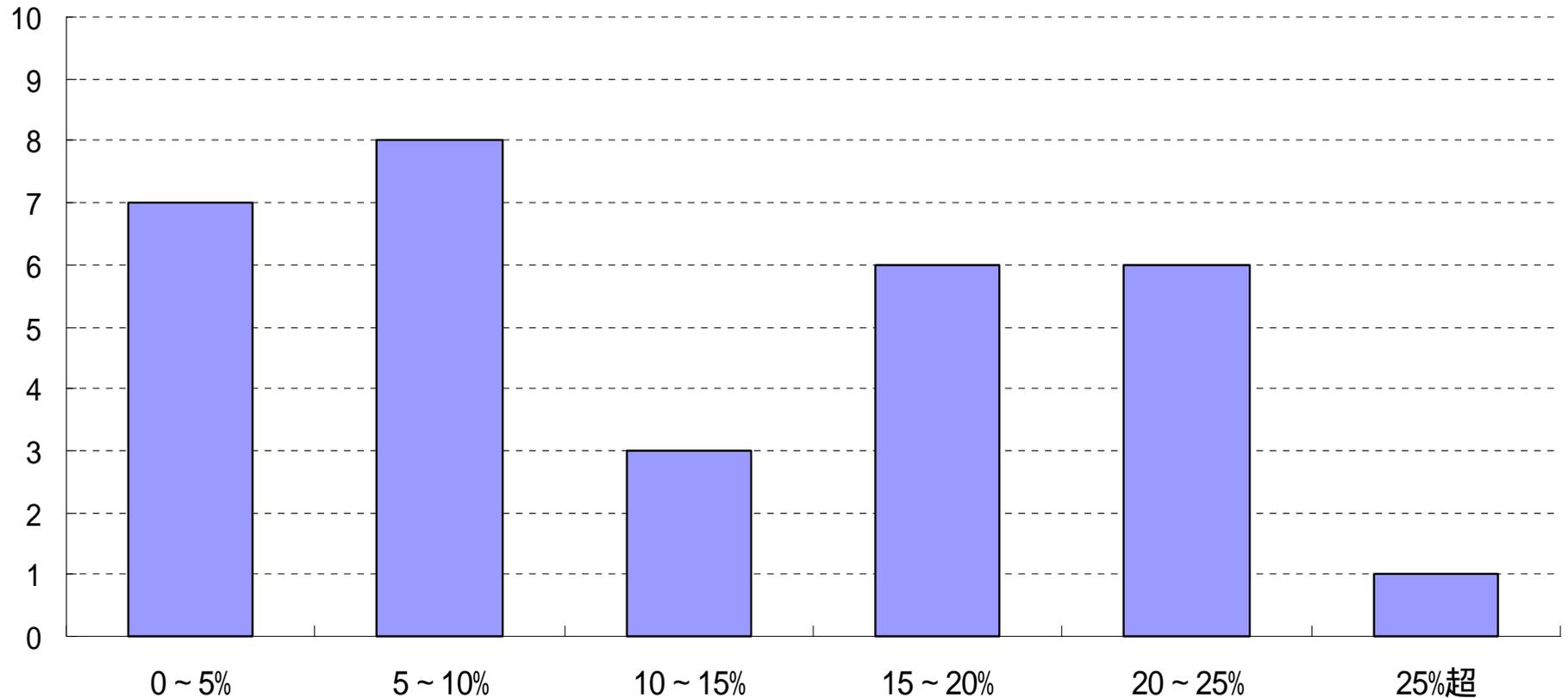
# 無担保保証にて第三者保証人を徴求している割合

(平成15年度 31協会のデータ、保証承諾額の約2 / 3)

(金額にして2 / 3の保証協会のデータ)

(協会数)

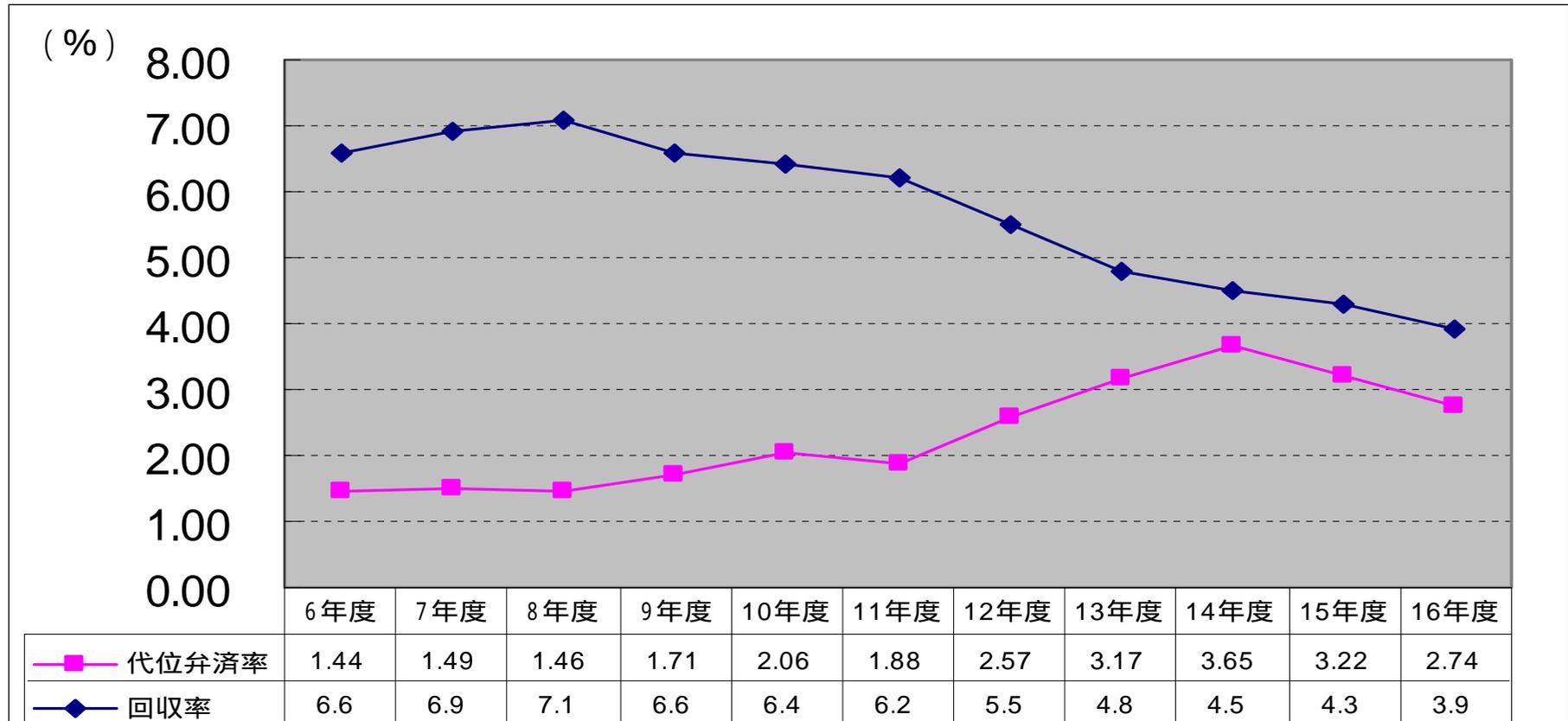
平均10.8%



出所:信用保証協会向けアンケート調査から中小企業庁が作成。

# 代位弁済率・回収率の推移

金融危機の前後で、代位弁済率は約2倍に増加し、回収率は無担保保証の増加により、2/3以下へ減少している。

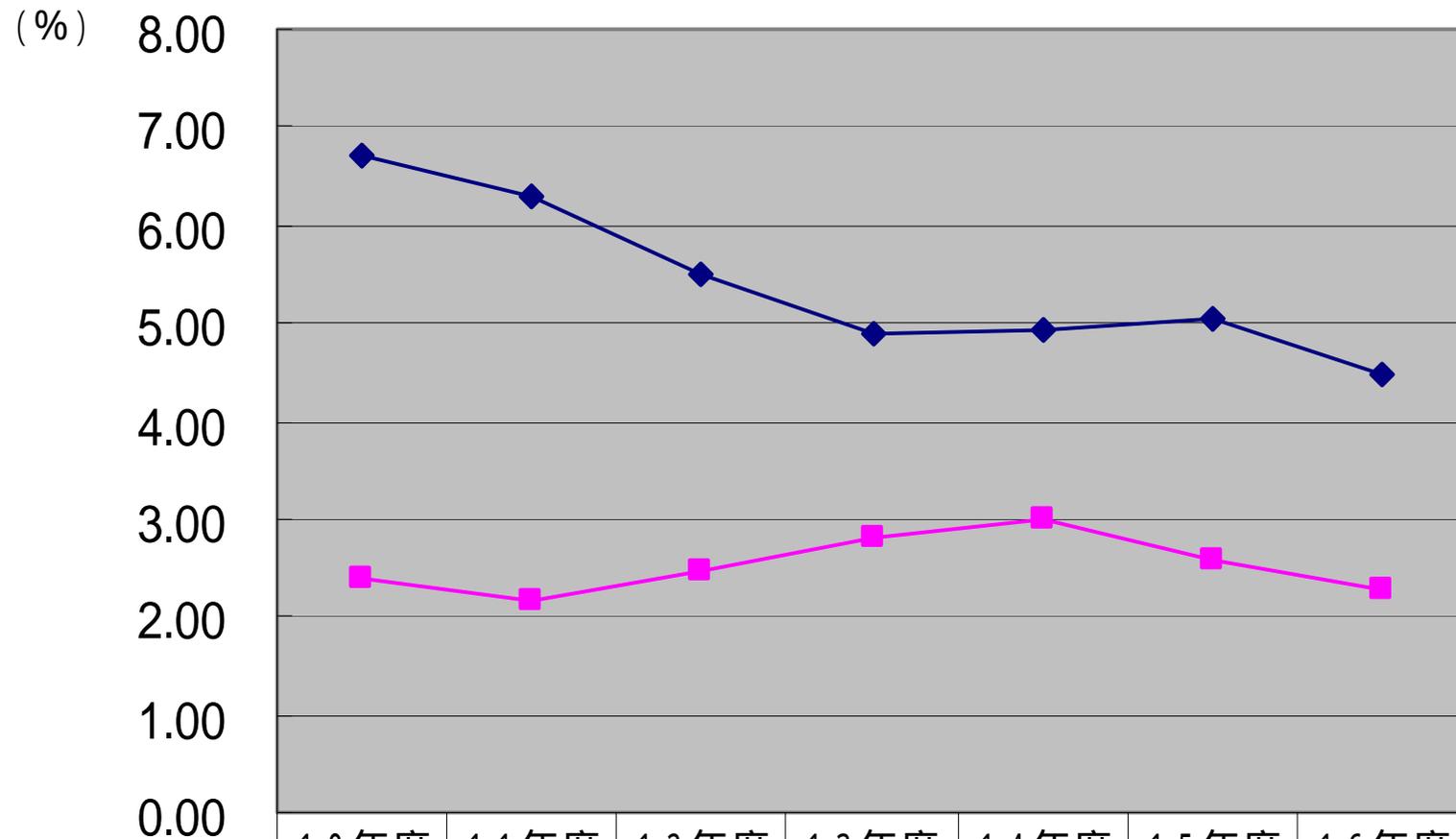


代位弁済率 = 代位弁済額 ÷ 保証債務平均残高

回収率 = 実際回収 ÷ (期首の求償権残高 + 期中の代位弁済額)

出所: 全国信用保証協会連合会資料により中小企業庁が作成

# 代位弁済率・回収率の推移(金融安定化除く)



代位弁済率	2.37	2.15	2.48	2.80	3.01	2.57	2.26
回収率	6.69	6.30	5.51	4.89	4.94	5.04	4.48

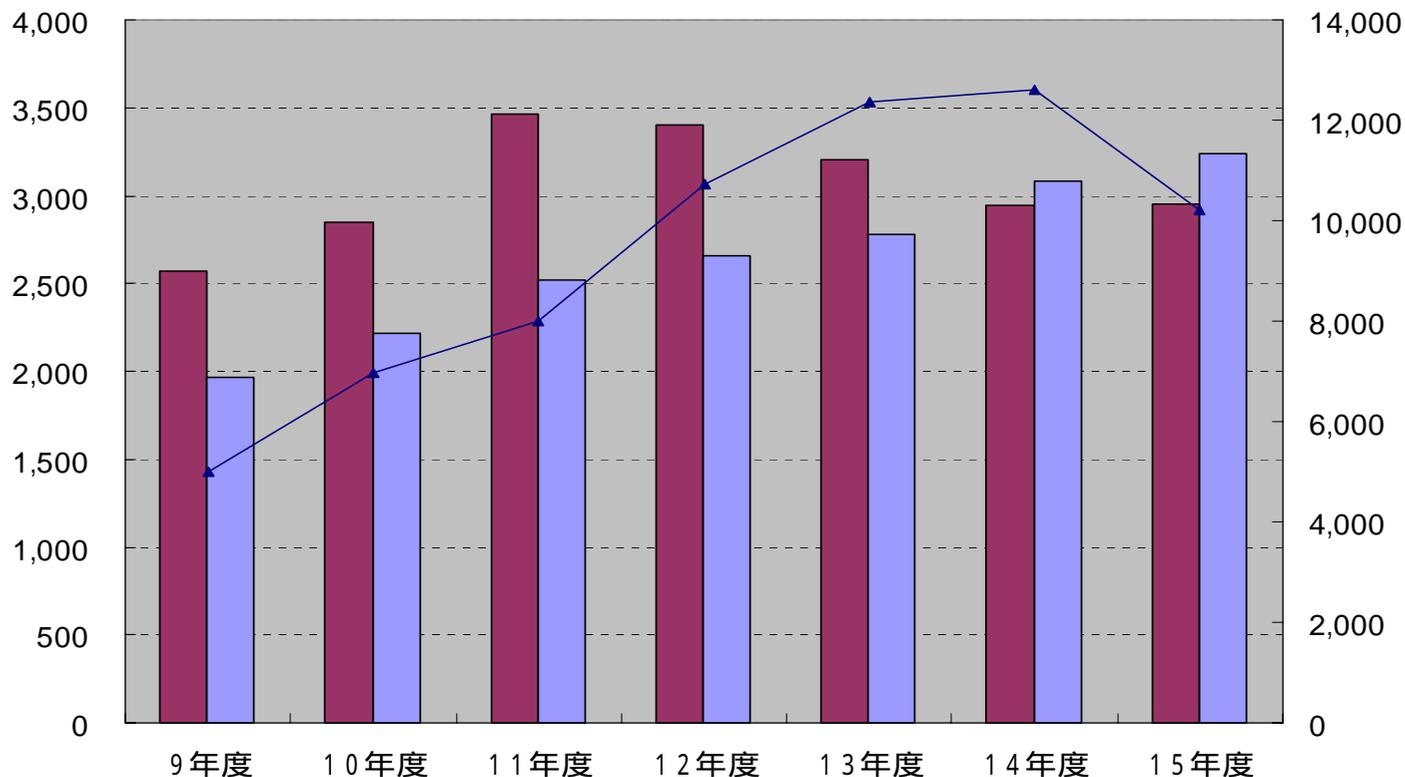
出所:全国信用保証協会連合会資料により中小企業庁が作成。平成16年度は数値は速報値による

# 信用補完制度に関する収支状況

信用補完制度の事業収支は、平成14年度まで赤字幅が拡大し続けた。平成15年度は赤字幅が縮小したものの、4,030億円の赤字となっており、大幅な赤字構造となっている（これに加えて保険部門・協会の事務費が900億円程度あり）。これには、事故率の漸増、回収率の低下という構造的要因が根底にある。

(単位: 億円)

## 保証料、回収額、代位弁済額の推移



(単位: 億円)

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
■ 保証料	2,571	2,846	3,462	3,405	3,204	2,945	2,952
■ 回収額	1,964	2,218	2,516	2,662	2,779	3,085	3,235
▲ 代位弁済額	4,987	6,983	8,010	10,733	12,350	12,604	10,217
収支差額	452	1,919	2,032	4,666	6,367	6,574	4,030